エコアクション21

≪2024年度版≫

対象期間
2024年10月～2025年 9月





環	境	経	営
レ	ポ	ー	ト



®環境省
エコアクション21
認証番号0000621

株式会社　筑豊商会

発行日：2025年11月25日

目　　次

(1). 事業の概要 ・・・

(1). 事 業 の 概 要

①事業者名及び代表者

株式会社 筑豊商会
代表取締役 久保 正二

②所在地

本　　社 ： 〒820-1111 福岡県飯塚市勢田2566番2
筑 豊 支 店 ：
（化成品G・筑豊LP）： 同　　上
北 九 州 支 店 ： 〒803-0802 北九州市小倉北区東港2-3-1
大 分 支 店 ： 〒870-0272 大分市迫653番38
博 多 支 店 ： 〒813-0034 福岡市東区多の津4-3-17
関 西 支 店 ： 〒660-0882 兵庫県尼崎市昭和南通3丁目26番地1 第一松本ビル410
東 京 支 店 ： 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-11-7 神谷ビル603号

③環境保全関係担当者連絡先

環境管理責任者 ： 藤木 和隆
連絡担当者 ： 同 上
連　　絡　　先 ： TEL:0948-92-5622 FAX:0948-92-7611

④事業の内容

高圧ガス及び機器の販売
包装資材等の卸販売業

⑤事業の規模

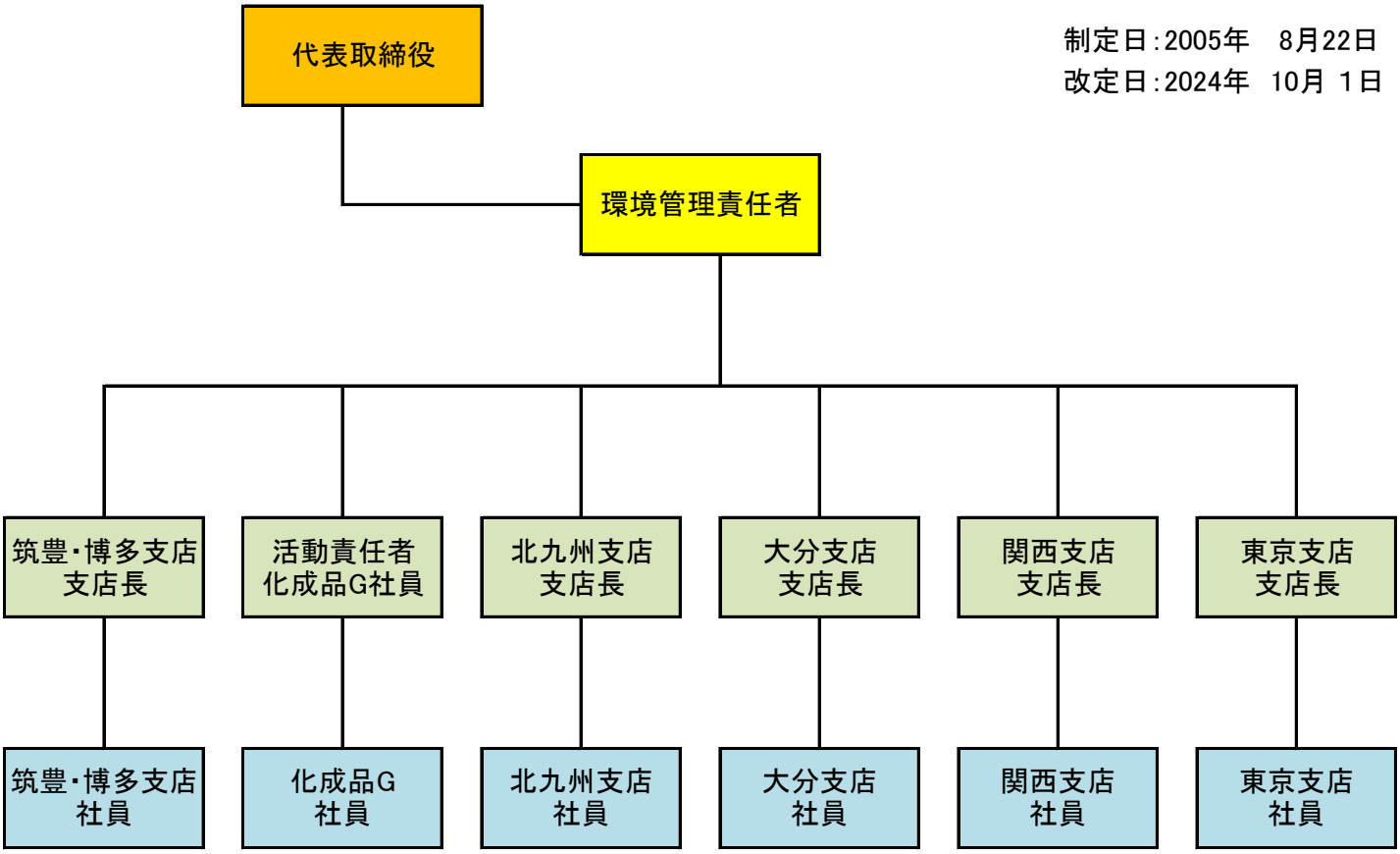
創　　立 ： 1949年(昭和24年)10月
資　　本　　金 ： 27,500(千円)
従 業 員 数 ： 44 名
床　　面　　積 ： 187㎡
2024 年 度 売 上 高 ： 1,327(百万円)

⑥対象範囲

全社・全組織・全活動

(2). 実 施 体 制

制定日:2005年　8月22日
改定日:2024年　10月 1日



所　　属	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
代 表 取 締 役	・環境方針の制定及び見直し ・経営資源の準備と環境管理責任者の任命 ・緊急事態発生時の事態の収拾を図る為の指揮
環境管理責任者	・環境経営システムの見直し及び構築・運用継続を行う ・環境目標の達成状況、活動計画の実施状況の確認 ・環境経営システムの実績報告
環境活動責任者	・EA21文書や記録の作成及び維持管理を行う ・EA21の取りまとめを全社員に周知する ・安全運転管理を徹底する
全　社　員	・環境方針を理解し、環境改善への提案をする ・積極的に環境活動への参加をし、社外へ広く公表する

(3). 環 境 経 営 方 針

≪ 経 営 理 念 ≫

地域社会に必要とされる企業を目指し、すべてに環境配慮して効率化を図るとともに顧客満足の向上を目指します。

≪ 行 動 方 針 ≫

（1） 顧客ニーズを配慮したグリーン購買を推進する。

（2） 企業活動が環境に与える影響を的確に捉え、経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定めて環境保全活動の継続的な向上を図る。

（3） 省資源・二酸化炭素・廃棄物・水使用量の削減及びグリーン購入の推進。

（4） 環境関連の法律・規則・顧客要望等を遵守し、一層の環境保全に取り組む。

（5） 以上の結果をまとめ、環境活動レポートを顧客へ配布する。

制定日　2005年 8　月22日
改定日　2024年10 月　1日

株式会社 筑 豊 商 会
代 表 取 締 役　久保 正二

(4). 2024年度 環境経営目標

項　　目		単位	基準年度	目　　標		
			2023年度 実績	2024年度 1%削減	2025年度 1.5%削減	2026年度 2%削減
二酸化炭素排出量の削減		$kg-CO_2$	147,331	145,858	145,121	144,384
	電気使用量の削減	kWh	25,220	24,968	24,842	24,716
	ガソリンの削減	ℓ	42,210	41,788	41,577	41,366
	軽油の削減	ℓ	13,010	12,880	12,815	12,750
水道使用量の削減		m^3	106	105	104	104
廃棄物の削減		kg	724	717	713	710
グリーン購入の推進		品目数	27	27	27	28
環境に有益な活動						
	紙使用量の削減	枚数	57,000	56,430	56,145	55,860
	リサイクル商品の販売	品目数	16	16	16	16
	エコジョーズの販売	台	1	1	1	1

今年度活動目標

＊化学物質の取り扱いはありません。

＊2024年度の日鉄エンジニアリング　二酸化炭素調整後排出係数0.628（$kg-CO_2/kWh$）を採用

(5). 2024年度 環境経営計画

目標を達成する為の取組

項　　目		活 動 内 容	責任者	日程
二酸化炭素排出の削減				
	電気使用量の削減	各電灯のスイッチ付近に節電の表示を行い、常に節電を心掛ける。 室内照明のLED化。 エアコンの設定温度を夏季28℃・冬季22℃の設定を徹底する。 クールビズ、ウォームビズに努める。（夏は空調服・冬は防寒着で体温調節する。） 全窓にフィルムを貼り、ブラインドを取り付けることで節電。 エアコンフィルターの清掃を定期的に行う。（季節の変わり目、長期休暇前）	細山田	通年
	車両用燃料の削減	アイドリングストップの徹底、タイヤ空気圧のチェック、エコドライブの励行。 GPS付ドライブレコーダーを全車に設置、配送ルートの効率化。 専門家による車両の定期点検を実施する。 営業車をハイブリット車に随時移行、現在5台	藤木	通年
水道使用量の削減		各水栓付近に節水の表示を行い常に節水を心がける。 水漏れ等があれば直ぐに修理を行う。	藤木	通年
廃棄物の削減		ゴミの分別を徹底し、リサイクル可能なものはリサイクルする。 外部からのゴミは持ち込まない。	山則	通年
グリーン購入の推進		コピー用紙、トイレットペーパーは再生紙を購入する。 事務、日用品、作業着等はグリーン購入法適用品を積極的に購入する。	藤木 山則	通年
環境に有益な活動				
	紙使用量の削減	コピー用紙の削減・裏紙利用の徹底、PCFAX・メールでの受発注を心掛ける。 社内打ち合わせ・会議に必要な資料は裏紙を使用する。 見積書等、社内で保管するものはプリントアウトせずに共有ファイルで閲覧する。	細山田	通年
	リサイクル商品の拡販	再生原料を使用した取扱製品の把握、提案、拡販を行う。	藤木・山則	通年
	エコジョーズの販売	商材を勉強し機器の修理及び交換時にPRする。	深谷	通年

＊3ケ月に一度、進捗状況を確認し、計画通りに実行出来ているかを検証する。

(6). 2024年度 環境経営目標の実績

項目			目標（2024年10月～2025年9月）	実績	取組結果
二酸化炭素排出量の削減		kg-CO_2	145,858	**124,999**	○
	電気使用量の削減	kWh	24,968	**19,790**	○
	ガソリンの削減	ℓ	41,788	**25,590**	○
	軽油の削減	ℓ	12,880	**20,621**	×
水道使用量の削減		㎥	105	**146**	×
廃棄物の削減		kg	717	**566**	○
グリーン購入の推進		品目数	27	**39**	○
環境に有益な活動					
	紙使用量の削減	枚数	56,430	**162,000**	×
	リサイクル商品の販売	品目数	16	**17**	○
	エコジョーズの販売	台	1	**1**	○

＊2024年度の九州電力　二酸化炭素調整後排出係数0.449（kg-CO_2/kWh）を使用





タイプ	シングル
個装サイズ	321×225×113mm（高さ×幅×奥行）
寸法	幅107mm×長さ170m
内容量	6ロール
ケース入数	8パック
材質	リサイクルパルプ使用



(7). 環境活動取組結果と評価

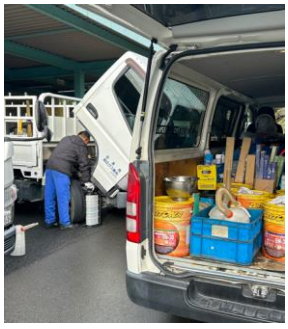
項　　目		取　組　結　果	
二酸化炭素排出の削減			
	電気使用量の削減	各電灯のスイッチ付近に節電の表示を行い、常に節電を心掛ける。	○
		室内照明のLED化。	○
		エアコンの設定温度を夏季28℃・冬季22℃の設定を徹底する。	○
		クールビズ、ウォームビズに努める。（夏は空調服・冬は防寒着で体温調節する。）	○
		全窓にフィルムを貼り、ブラインドを取り付けることで節電。	○
		エアコンフィルターの清掃を定期的に行う。（季節の変わり目、長期休暇前）	○
	車両用燃料の削減	アイドリングストップの徹底、タイヤ空気圧のチェック、エコドライブの励行。	○
		GPS付ドライブレコーダーを全車に設置、配送ルートの効率化。	○
		専門家による車両の定期点検を実施する。	○
		営業車をハイブリット車に随時移行、現在5台	○
水道使用量の削減		各水栓付近に節水の表示を行い常に節水を心がけたが、猛暑により	
		ローリーを冷やす為の水使用量がかなり増加した。	×
		水漏れ等があれば直ぐに修理を行う。	○
廃棄物の削減		ゴミの分別を徹底し、リサイクル可能なものはリサイクルする。	○
		外部からのゴミは持ち込まない。	○
グリーン購入の推進		コピー用紙、トイレットペーパーは再生紙を購入する。	○
		事務、日用品、作業着等はグリーン購入法適用品を積極的に購入する。	○
環境に有益な活動			
	紙使用量の削減	コピー用紙の削減・裏紙利用の徹底、PCFAX・メールでの受発注を心掛ける。	○
		販売システムの変更により、専用伝票からコピー用紙に変更の為	
		達成ならず。	×
		社内打ち合わせ・会議に必要な資料は裏紙を使用する。	○
		見積書等、社内で保管するものはプリントアウトせずに共有ファイルで閲覧する。	○
	リサイクル商品の拡販	再生原料を使用した取扱製品の把握、提案、拡販を行う。	○
	エコジョーズの販売	商材を勉強し機器の修理及び交換時にPRする。	○

全体評価

・ゴム樹液を使った天然素材で廃棄後土に還る環境に優しい手袋や、リサイクルパルプ使用トイレットペーパー再生エコペーパーなど積極的にユーザー様へ提案し購入して頂けた。

・自社使用分もリサイクル素材のものを使用し、環境に配慮する意識も全体的に高まってきたと思う。

・車両用燃料に関しては、配送ルートの範囲が大幅に拡大した為増加、売り上げも伴って増加しているがハイブリット車に変えたこと、GPS管理による配送の効率化に努め達成できた。





(8). 次年度の取組み内容

項　　目		取　組　内　容	責任者	期間
二酸化炭素排出量の削減				
	電気使用量の削減	今後も各自節電意識を高め、削減に努める。 エアコンフィルターの清掃を定期的にする。	細山田	通年
	車両用燃料の削減	配車計画の合理化・ルートの最適化を図り見直しをする。（管理者の選定） 省エネ運転の周知徹底	藤木	通年
水道使用量の削減		社員一人一人へ節水の周知徹底。（管理者の選定） ウォーターサーバーの併用	藤木	通年
廃棄物の削減		廃棄物分別化の継続、リサイクルの推進。 分別や持ち込み等管理者を選定しチェックする。 外部からの持込みはしない。	山則	通年
グリーン購入の推進		今後もエコマーク商品、利用可能な製品の洗い出しを検討し 購入品目を増加して行く。	藤木 山則	通年
環境に有益な活動				
	紙使用量の削減	ペーパーレスFAX機の活用・裏紙使用徹底・共有フォルダの活用。 社内資料の共有フォルダ活用と届出のペーパーレス化。	細山田	通年
	リサイクル商品の拡販	再生原料使用の商品（緩衝材、ポリ袋、パレット）等の拡販を積極的に行う。	藤木 山則	通年
	省エネ商品の販売	目標数値を設定しエコジョーズだけでなくエアコン等他の商品も拡販する。	深谷	通年

(9). 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟などの有無

確認日
2025/10/1
環境管理責任者
藤木

	法律・規則	環境状況の取りまとめ	遵守状況の確認結果
廃棄物	家電リサイクル法	・該当家電製品の処分は指定された業者に引き渡し処分すること。	・該当商品の処分はなかった。 確認：2025年10月1日
	飯塚市 環境基本条例第162号	・ごみの排出量を減らす。 ・包装、容器等リサイクル可能なものを購入する。 ・段ボール、ポリ袋、PPバンドはリサイクル業者が引き取り。	・実行されている。 確認：2025年10月1日
改正フロン法 （フロン排出抑制法）		・全てのエアコンの簡易点検を3ケ月に1回する。（10月・1月・4月・7月の第3金曜日） ・該当製品の廃棄の際は県指定のフロン回収業者に依頼しフロン回収後に廃棄する ・点検記録及び廃棄記録（引取証明書）は、廃棄後３年間保存する	・実行されている 確認：2025年10月1日

環境関連法規の適合を自己チェックした結果、違反はなかった。

又違反・訴訟等は無い、また近隣等外部からの苦情、要望、問い合わせも無かった。

(10). 代表者による全体の取り組み状況の評価及び見直し・指示の結果

見 直 し 事 項	引続き環境への配慮・意識の徹底を行う。
環境経営方針	引き続き活動を継続するが、一部修正追記して改定する。
環境経営目標	全体的な取り組みは良好である。 ハイブリッド車の導入や販売システムの変更など大きな変化があったため、目標を見直しする。 今後も各自、節約の意識を持って行動する。
環境経営計画	目標に沿った計画案を立案し継続する。
環境経営システム等 （実施体制）	社内外への環境保全活動をPRする事。 （名刺交換の時など一言EA21を付け加え、必要ならレポートを配布）
緊 急 対 応	6月4日に大規模地震に係る防災及び減災対策に伴う訓練を行った。今後も消化器の定期点検を行い、日頃から防災に努める。